

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 2.1 重度又は広範囲の熱傷には使用しないこと〔酸化亜鉛が創傷部位に付着し、組織修復を遷延させることがある。〕
2.2 患部が湿潤している場合には使用しないこと〔酸化亜鉛が創傷部位に付着し、組織修復を遷延させることがある。〕

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	1g中、日本薬局方 酸化亜鉛 1g
------	-------------------

3.2 製剤の性状

性状	白色の無晶性の粉末である。
----	---------------

4. 効能又は効果

軽度の皮膚病変の収れん・消炎・保護・緩和な防腐

6. 用法及び用量

- 外用散剤（散布剤）として15～100%
○ 軟膏剤・液剤（懸濁剤・リニメント剤・ローション剤等）として2～60%
上記濃度に調製し、いずれも症状に応じ1日1～数回患部に適用する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	過敏症状
皮膚	発疹、刺激感等

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

誤って吸入しないよう注意させること。

14.2 薬剤使用時の注意

眼には使用しないこと。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

皮膚のタンパク質に結合又は吸着して不溶性の沈殿物や被膜を形成し、収れん、消炎、保護並びに緩和な防腐作用を現す。また、毛細血管の透過性を減少させ、血漿の浸出や白血球の遊出を抑制するので炎症を抑える（抗炎症作用）と共に、創面又は潰瘍面などを乾燥させる¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般名：酸化亜鉛（Zinc Oxide）

化学名：Zinc Oxide

分子式：ZnO

分子量：81.38

性状：白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。

水、エタノール（95）、酢酸（100）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。

空気中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

22. 包装

500mL（ポリ）

23. 主要文献

1) 第 18 改正日本薬局方解説書. 廣川書店

24. 文献請求先及び問い合わせ先

山善製薬株式会社 学術室

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2 丁目 2 番 4 号

TEL 06-6231-1821 FAX 06-6231-1824

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町 2 丁目 2 番 4 号